

住まいづくりは幸せづくり

今月の写真



我が家のナガミヒナゲシ



カスポの大群落

ひとりごと

ニュースレター woody-akiba

ミャンマーを襲ったサイクロンや四川省での大地震、自然の猛威には言葉を失います。皆様お元気でお過ごしでしょうか？

私小学生の頃、学校帰りの古い思い出です。道端で一人が、人の指くらいの茎を「パキッ」と折って皮をむき、口にに入れて突然食べ始めます。すると、みな同じように食べ始めるのです。この草をカスポ(正式な名前はわかりません。どなたか教えてください)と呼んでいました。無味無臭ですが、パキパキして瑞々しく手軽な水分供給源でした。私たちの子供の頃は誰もが食べられることを知っていました。

清潔、衛生にうるさい現在ではありますが、娘たちもカスポが食べられることを知っていたので驚きました。それは友達が同じように折って食べるのを見たからだそうです。世代を越えて伝わっていったのは親が教えたからの他なりません。5月になると野を埋め尽くさんばかりにこのカスポが繁殖します。この季節になると思い出すのはカスポの味です。

我が家の敷地では、たくさんの草花が花開いています。ナガミヒナゲシ(ケシ科)など草でもきれいな花が咲きます。ばかにできないものですね。いろいろな草が生い茂る我が家では自然に生えてきた草花を見て初夏を感じています。楽しみにしていたサクラランボは全部鳥に食べられてしまったのにはガッカリしました。

皆様、さわやかなこの季節、お元気にお過ごしください。(平成20年5月31日)

吹き抜けをつくるには？



一階のダイニングと二階の個室を縦につないでできた空間が上の写真です。壁は一面に真っ白な漆喰が塗られ半透明なパネルからはやわらかい光がおりてきます。ダイニングの南側には障子をはめ込まれこちらからもたさしく光が入ってきます。ダウンライトからの照明が白い漆喰を照らし清楚で落ち着いた雰囲気をつくっています。



風景を切り取る窓



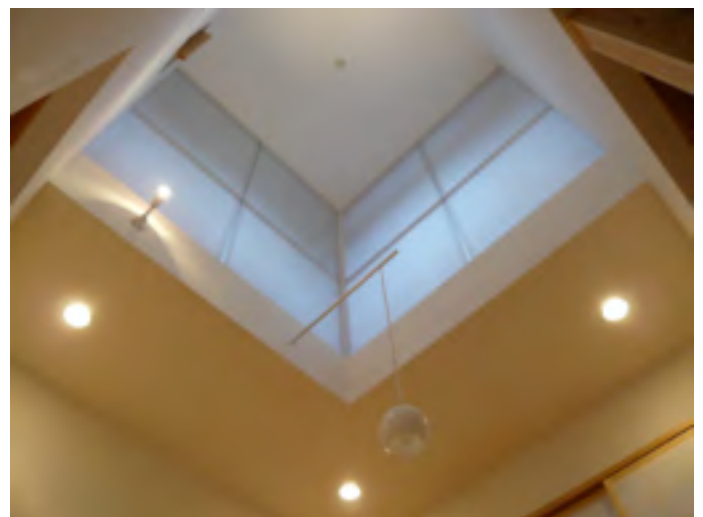
東側の窓からはお隣にある緑地がきれいに見えます。窓枠が額縁となり、風景画として楽しむことができます。

ダイニングから見上げるとしたの写真のように見えます。暗くて閉鎖的になりがちな空間を縦につなぎ、間接照明を使いやわらかな陽光を入れることでやわらかくすがすがしい空間となりました。

高野先生のセンスとエッセンスが狭い空間に凝縮されたようなすばらしい部屋となりました。

設計デザイン

高野デザインプロデュース 高野祐之先生



発行者 秋葉建設株式会社 秋葉 忠夫
〒289-2163 千葉県匝瑳(そうさ)市南神崎52-1
電話0479-72-0814 FAX0479-72-0824
URL <http://www.woody-akiba.com>
Email master@woody-akiba.com